



ロータリーのマジック



川崎大師ロータリークラブ週報



例会日：毎週水曜日 12:30～
 例会場：大本山川崎大師平間寺 信徒会館
<http://www.kawasakidaishi-rc.com/>
daisi-rc.1973@air.ocn.ne.jp

第52期
 会長 竹中 裕彦
 副会長 石渡 勝朗
 幹事 猪狩 佳亮
 SAA 町田 喜江

第2413回（本年度 第11回） 例会 2024年10月2日 一快晴一

- 司会 町田 喜江 SAA
- 点鐘 竹中 裕彦 会長
- 斉唱 <奉仕の理想>
♪宮崎 眞一ソングリーダー



- 来訪ロータリアンの紹介 布川 浩 親睦活動委員長
国内外ともいらっしゃいません。



- 入会祝い 布川 浩 親睦活動委員長
 - 野沢 隆幸 会員 1990.10.17
 - 笹沼 裕丈 会員 2020.10.07
 - 石渡 勝朗 会員 2020.10.21
 - 宮崎 眞一 会員 2020.10.28
 - 佐藤 和義 会員 2022.10.05
- 奥様の誕生祝い 布川 浩 親睦活動委員長
 - 鈴木 幹久会員 奥様 晋子様
 - 炭谷 博功会員 奥様 厚子様
 - 小林 勇次会員 奥様 充代様
 - 船木 幸雄会員 奥様 幸子様
 - 宮山 光男会員 奥様 芳江様
- 会員の誕生祝い 布川 浩 親睦活動委員長
 - 林 鶴 会員
 - 布野 真治 会員
 - 小泉 敏和 会員
 - 佐藤 和義 会員



●会長報告 竹中 裕彦 会長

- ①ロータリー青少年交換来日生のホストファミリーバンク登録のご案内
- ②漢城RC50周年のインビテーションが届きました。



●幹事報告 猪狩 佳亮 幹事

- ①ポスティングのご案内
 - ・ロータリーの友10月号
 - ・ガバナー月信 vol.4(10月号)
 - ・FM 大師マガジン創刊号
- ②回覧
 - ・他クラブの例会変更のご案内
 - ・米山奨学会「2023 年度事業報告書」「2023 年度決算報告」
 - ・10月16日東京ロータリークラブ訪問の出欠表
 - ・10月19日川中島中 ふれあい体験講座の出欠表
 - ・10月30日職場訪問、移動例会の出欠表
- ③例会変更のご案内
 - ・10月16日は休会
 - ・10月30日は職場訪問移動例会
- ④年内の各種イベント、行事に関するご案内
 - 9月30日付、全会員にメールまたはFAXにて配信
- ⑤9月30日付、第2期の会費納入のご案内を発送済み。(4分割納入の方)。84円切手で発送しています。
- ⑥10月のロータリーレート 1ドル=142円
- ⑦例会終了後、13:45より第4回定例理事会を開催

●出席報告 町田 喜江 直前出席委員

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2413回	42	35	19	16	54.29%
2411回	42	37	20	17	54.05%
前々回の修正メイクアップ 1名・修正出席率					56.76%

メイクアップ 林会員



●スマイルレポート 石渡 勝朗 副会長

横山 俊夫 会員

清水さん、FM大師開局おめでとうございます。

小泉 敏和 会員

ホウカシキ炎にて入院しておりました。皆様も免疫力をつけましょう。

竹中 裕彦 会長

①なぜ水曜日は暑いのでしょうか？

②エネルギー充填率80%まで快復しました。これからリカバリーに努めます。

猪狩 佳亮 幹事

①今日は例会から奇席、ラウンジ牛山まで楽しい1日です。10月は楽しいイベントが目白押しですので、会員の皆さま、ぜひ楽しみましょう！

②妻の誕生日に素敵なお花をいただき、ありがとうございました。

石渡 勝朗 副会長

本日は拙い卓話をさせていただきます。

~~~ 本日のニコニコテーマ ~~~

『石渡副会長、卓話楽しみにしております。

枝村委員長 読書の秋に友精読 どうぞよろしくお  
願ひ致します。』

炭谷 博功 鈴木 昇二 牛山 裕子 小林 勇次  
内田 省治 布川 浩 大谷 茂 宮崎 眞一  
町田 喜江 枝村 和道 各会員

●委員会報告

◎米山記念奨学委員会 牛山 裕子 委員

秋季例祭（米山梅吉記念館）に出席しました。

東京日本橋東 RC の会員で三井住友信託銀行の部長から「米山翁が始めた信託が 100 年です。記念展示を三井本館で今年いっぱい開いてます」お誘いです。

◎フォローアップ委員会 牛山 裕子 委員長

10 月 16 日東京クラブメイクアップ申し込みは本日よりです。詳細はすでにお知らせしています。宜しくお願ひ致します。

◎職業奉仕委員会 横山 俊夫 委員長



10 月 30 日(水)神奈川県赤十字血液センター厚木血液製造所訪問、あつぎ飯山温泉「元湯旅館」の例会、懇親会の積極的なご登録お待ちしております。締切は 10 月 9 日です。

~~~ ロータリーの友精読 ~~~

◎枝村 和道 雑誌広報委員長



P56 「につぼんふうど」

P51 「人生 100 年時代の家」

P14 「常識関門の 3 人を巡る考察」

~~~~~ 卓話 ~~~~~

◎石渡 勝朗 副会長

1 予定されていた卓話者が急に出席できなくなりまして、急遽、恐れ多いことにピンチヒッターを仰せつけられました。私は 3 年未満の研修を受けましたが、まだまだロータリーについては知らないことばかりで、こんな私が自己紹介と言っても、取り留めのないお話になりますが、勘弁してください。

2 私の現在の健康(病気)について触れる前に、来年、82 歳を迎える私は、自身、よくここまで生きて来られたか、不思議に思っています。私なりに、生死を分けた出来事をお話いたします。

一つ目は、私がこの世に生まれ出た時、仮死状態でありました。生まれる前、逆子であったことが分かりましたので、病院に入院していたのです。戦前のことですから、当時はお産婆さん(助産婦さん)が赤子(乳児)を取り上げるのが一般的でしたから、病院で、生まれたことは、私にはラッキーでした。「息をしていない赤子」を、冷たい水桶と熱い水桶とに交互に入れて、刺激する原始的な方法で息を吹きかえしたと、後に母から聞かされました。

二つ目は、小学校3年生の夏に、当時、大師公園にあった「大人のプール」は広くて、深くて、きれいな水で満たされていましたが、「子どものプール」は、小さい上に、水がとても汚かったことは、忘れることができません。今だったら、当然、使用禁止でしょう。その「子どものプール」で泳いでいたので、汚い水が原因だと思いますが、発熱し、高熱が続きました。最初に診てもらった病院では、ペニシリンの注射で対応されたのですが、一向に良くなりません。業を煮やして、別の病院で診察してもらおうと、結核だと診断され、ストレプトマイシン(ストマイ)の注射とパスという粉薬が処方されました。そして、1日中寝たまの絶対安静で、3年生を過ごしました。4年生5年生は、午前中は登校して、体育を除き、授業が受けられるようになりましたが、給食は食わずに帰宅すると、そのまま寝床に入って、絶対安静という生活が続きました。

6年生になって、まる1日登校できるようになり、3学期から体育の授業にも参加できるようになりました。冬の2月頃だったか、寒い日に多摩川に向かって、大師橋近くまでマラソンに参加した「遠い記憶」が、今でも懐かしく思い出されます。



三つ目は、高校三年生の夏、一人で江の島海岸に行つて溺れそうになったことです。今でも思い出すとぞっとして、「よく生きていたものだ、命拾いをしたものだ。」と思います。3そして、今、生き延びて来た私の健康(病気)についてお話をしますと、一つ目は、白内障を含めて、特に近くの物が見えなくなり、毎週の「スマイル レポート」を読むのが困難に感じています。いずれ「白内障手術」を含めて、対応し

なければならぬと覚悟しています。

二つ目に、気がかりなのが前立腺肥大です。もう30年近くも悩まされ、薬を変えながら、通院を続けています。最近、半年に1回程度、ガンの検査をしていますが、ある時、ガンの数値が上昇したということで、慌てて入院し、局所の肉片を取り出し、検査してもらいました。幸い、大丈夫との診断が下りた時は、ほっとしました。

三つ目は、定年退職した年に、精密検査の結果、横浜東部病院で糖尿病と診断されましたが、「うちの病院は患者さんの治療病院ではない」と言われ、太田病院を紹介してもらいましたが、そこでも「軽い症状だ。」と断られ、仕方なく電話帳を頼りに、矢向にある「神内科」というクリニックを探し、今も通い続けていますが、数値が徐々に悪化しているのが気掛かりです。

4 頭の方も一段と衰えつつある中で、なんとか現在、町内会活動、神社奉仕活動、ロータリー奉仕活動と関わっています。それに自営の(有)政勝商事の事務処理に携わり、更生保護施設「川崎自立会」、「神奈川県更生保護協会」、「保護司会」に関わりを持っています。

5 1月に、大師地区町内会連合会会長の浦野一吉氏を卓話者にお迎えし、地域活動を中心にお話を予定になっているようですが、私も地域活動に関わっていますので、お話をします。

① 町内会活動では、川中島町内会専務会計を担当し、町内会費、祝い金、香典、他町内会 他団体との交際費、各事業の経費、機材器具の購入などに関わっております。その都度、収入簿、支出簿、銀行通帳の出し入れ、伝票の整理など、こまごまとしたことで頭の体操になっています。

② 社会福祉協議会(大師地区には四つの協議会があります。)では、私は、第一社協に属し、広報部長を担当していますが、慣れないことで苦戦しています。

③ 川中島神明神社の氏子総代として、まとめ役をしています。元旦祭、例祭の他に、毎年、「町内会と神社氏子総代会」から成る「実行委員会」を立ち上げ、「盆踊り大会」を実施しています。子ども、高齢者を交えて、毎年大勢の参加を得て、盛り上がっています。舞台を組み立てたり、掲示板を設置したり、多くの人達の協力があります。残念なのは、今は人が集まらず、山車が繰り出せません。2年に一度の

祭礼では、神輿は中学生にお願いしていますが、披露するだけになるかも知れません。明るいニュースでは、今年も川崎市から戴いた「ひまわりの種」大小を老人会の有志の協力で、種の植え付けから始まって、肥料や水やりなど、丹精込めたお力で、児童公園や神社境内に大輪の花を咲かせることができ、多くの人達に関心を得ることができました。

7 盆踊りや餅つき大会の時など、最近「騒音でうるさい」とか、「火を燃やすのは地球温暖化を助長する」とか、「消防署に訴える」とか、苦情や抗議が増えてきました。さて、「神社境内のごみの捨て方まで苦情を言う」若者が居りましたが、一方で、この若者は、境内の花の植え込みに水をあげたり、害虫駆除をしたり、いいところもある若者です。この若者のお話をします。

ある時、社務所の二階で仕事をしていると、突然怒鳴り声が外から聞こえてきました。何と言っているか、分かりませんでした。下に降りてみると、老人クラブの人が二人いて、事情を聴くと、「石渡と言うのがいるか」と叫んでいたのだと言う。私は、この若者とは初めての面識でしたが、穏やかにゆっくりと若者から事情を聴きました。時間をかけ、丁寧に、相手の言い分を聞きながら、前向きに話し合っているうちに、若者の気持ちが穏やかになってきたように感じられ始めました。同時に私の気持ちも受け入れられ始めたと思いました。その日以降、彼と会うたびに、お互いに、自然に挨拶を交わし、親しみを感じるようになりました。彼は境内や児童公園の草取り ゴミ拾いも目立たぬようにやっている姿を目撃するようになりました。

この出来事から若者に対する「高齢者」のありよう、そして、さらに青少年に対する「教員の生徒指導」や「保護司の更生保護」のありようなどを改めて考えさせられました。

●閉会宣言並びに点鐘

竹中 裕彦 会長

2024年10月16日(水)は**休会**です。

クラブ会報委員会 奥山啓寛 檜山雄彦 清水暁

